

# 島根

※2026 年春実施の全国公立高校入試情報は、2025 年 12 月 9 日現在によるものです。

## 1. 日程

[特色選抜(総合選抜・中高一貫特別選抜・スポーツ特別選抜)]

○学力検査(実施する学校のみ)

1/21

○内定通知

1/29

[一般選抜]

●学力検査

3/4

○面接等

3/5

○合格発表

3/13

※追検査 3/10

## 2. 学力検査

[一般選抜]

国語：50 分・50 点

数学：50 分・50 点

英語：50 分・50 点

理科：50 分・50 点

社会：50 分・50 点

<250 点満点>

※傾斜配点を実施できる。→令和 8 年度は実施校なし。

○英語聞き取りあり(例年)

○国語課題作文あり(例年)

## 3. 調査書

[評定の記載方法]

○1 年…5 段階(絶対評価)

○2 年…5 段階(絶対評価)

○3 年…5 段階(絶対評価)

[調査書点の算出方法]

3 年重視

○3 年の必修教科を 2 倍して、1・2 年の必修教科と合計。180 点満点→素点 a とする。

○3 年の特別活動の記録…十分満足できる項目はA, その他はBとし,  $A=3$  点,  $B=2$  点と換算。9 点満点→素点  $b$  とする。

※素点  $a+b$  が調査書点となる。素点  $a$  は学力検査との比重により定められた割合で算出した点, 素点  $b$  はそのままを評点とする。調査書: 学力検査が  $6:4$  の場合, 調査書点が 60 点満点となるよう換算するが,  $b$  はそのままの点数で,  $a$  を換算する。

$$a \times (60 - b) / 180 = 51 \text{ 点満点 (評点 } a)$$

※調査書の名称は「個人調査報告書」

#### 4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

高校により異なる。 $8:2 \sim 4:6$

○調査書重視( $6:4$ )…14 校

( $7:3$ )…大社の体育科

○同等( $5:5$ )…15 校

○学力検査重視( $4:6$ )…7 校(松江北, 松江南, 出雲, 大田, 江津, 浜田, 益田)

※面接・実技検査を実施した場合は, 10 点以内で点数化して加算できる。

[判定方法]

○選考…特色選抜の合格者を除いた定員の上位 80% (受検者が入学定員に満たない場合は受検者の 80%) を第 1 志望者の中から優先的に選抜する。

残りについては, 第 1 志望者, 第 2 志望者の区別なく選抜する。

具体的には,

①調査書点(素点  $a, b$ )と学力検査点(傾斜配点がある場合は 250 点満点に換算=素点  $c$ )を高校ごとの比重で換算した点を合計し, 面接等を加算した総合点を出す。

②第 1 志望で調査書評点・学力検査評点が入学定員の 80% 以内で, 調査書・面接などで要検討でない者を合格。入学定員の 80% に満たない場合は, 80% になるまで, 第 1 志望者から選抜する。

③残りの者と第 2 志望の者を区別なく選抜する。

調査書, 学力検査の成績, 面接・実技の結果などを検討し, 総合点を基本に総合的に判断する。

#### 5. 推薦入学等

総合選抜・中高一貫特別選抜・スポーツ特別選抜を, 特色選抜として実施する。各々の出願者は, 他の選抜を併願できない。

■総合入学者選抜(総合選抜)

全ての高校・学科で実施。

志望理由書, 高校が指定した書類等(作文, 課題レポート等)を提出。

[検査内容]

面接または口頭試問, 作文または小論文, プレゼンテーション, 学力検査, 実技検査等から 2 つ以上

[定員に対する比率]

体育科を除き 10～40％程度まで。

○大社の体育科…60％

■スポーツ推進指定校入学者選抜(スポーツ特別選抜)

指定競技の該当校 19 校で、4 ないし 12 名以内の枠で実施。

志望理由書、高校が指定した書類等(作文、課題レポート等)を提出。

[検査内容]

面接または口頭試問、作文または小論文、プレゼンテーション、学力検査、実技検査等から 2 つ以上

[定員]

1 競技・1 校当たり 4 名以内。男女それぞれに同一の指定競技がある場合は、それぞれ 1 競技とする。

※検査日時は当該高校が指定する。ただし、教育委員会が作成する学力検査を実施する場合は、1 月 21 日。

■中高一貫教育校(連携型)に係る入学者選抜(中高一貫特別選抜)

飯南、吉賀

連携している中学校が対象。

自己報告書を提出。

高校は、課題レポート等の提出を求めることができる。

[定員]

各高校が定める。

[検査内容]

面接、《作文》

## 6. 備考

一般選抜で、同一校内に複数の課程・学科がある場合は、希望により最大第 4 志望学科まで出願できる。本校と分校を併願する場合は、併せて 1 校として取り扱い、第 1 志望学科を設置する方へ出願書類等を提出する。

半数近くの高校・学科が面接等を実施する。大社の体育科は実技検査を実施する。

※原則として全県一学区であるが、以下の通り、全日制普通科で定められた地域以外からの入学を制限する学校がある。(制限は一般選抜と第 2 次募集に限る)

○松江北、松江南、松江東…定員の 10％以内

○出雲…定員の 5％以内

※隠岐郡から隠岐郡以外の高校(体育科を除く)を志願する場合、隠岐郡以外から隠岐郡内の高校を志願する場合、島前から島後にある高校を志願する場合もしくはその逆の場合は、学力検査を最寄りの会場で受検できる。

※帰国・外国人生徒等の特別措置

志望先高校と教育委員会の協議の上、検査時間の延長・問題の漢字にルビを振る・検査教科の一部を作文とする等の措置を講じることができる。

※追検査

やむを得ない理由で学力検査，面接等を全て欠席した者で，希望する者は，追検査を受検できる。

※一般入学者選抜で欠員が生じた場合，第2次募集を実施する。